

団体名

SnowIZE

実施内容

- 参加者構成：
 - 小中学生：7名（松本・安曇野・塩尻地域）
 - 外国人ボランティア：3名（県内 ALT）
 - 1グループ6～7名
小中学生4名（うち1名保護者含む） 外国人1～2名 高校生ボランティア1名
- 当日プログラム：
 - 午前：グループ編成と自己紹介を行った。その後、外国人ボランティアと一緒に街歩きミッションに挑戦し、下記のミッション内容を達成すべく、2グループが別々に縄手通・中町通をめぐった。
 - ミッション内容：
 - 街をめぐり、外国人観光客にお勧めしたい店舗や場所を探す。
 - お勧めしたい内容や店員へのインタビュー内容をまとめる。
 - 縄手通で有名なある動物を見つけその理由を探る。
 - 午後：作成した地図や記録を模造紙にまとめ、グループごとに成果発表を行った。外国人ボランティアや主催者からフィードバックを得て、学びを深めた。
- 成果物：
 - 参加者が作成した地図や体験記録を模造紙一枚の英語地図（×2）

目的

- 若い世代が、日本にいながらも多様な価値観や文化に触れる機会を創出する。
- 学校の枠を超えた体験学習の場を提供し、参加者の自主性やコミュニケーション能力を育む。
- 将来、世界で活躍する人材を育成するための第一歩となるような、国際的な視野を育む。
- 松本の地域文化や歴史を再認識することで、地域活性化や文化継承に貢献する。

効果

- 参加した小中学生が、異なる文化背景を持つ人々と直接交流することで、異文化への理解を深めることができた。
- 街歩きミッションを通じて地域の魅力（歴史、文化、人々の暮らし）を再発見し、地域への愛着を育むことができた。
- 参加者が作成した成果物を松本市に提出し、松本市の国際交流促進や観光振興に貢献することができた。
- 本企画が地域内外への情報発信となり、国際交流イベント実施のモデルケースとしての役割を果たすことができた。

今後の課題

- 広報の期間が短く、手段も限られていたため、限定的な人数での開催になった。より多くの子供に国際交流の意義を感じてもらうため、より大きなイベントへの参入も必要。
- 参加者の安全管理や当日の運営など、細かなところで団体運営の難しさを多く感じた。この経験を糧により厳密で信頼できる団体運営を行っていく必要がある

事業実施経過

| 年月 | 実施事項 |
|-----------|-------------|
| 令和8年2月7日 | 企画の参加呼びかけ開始 |
| 令和8年2月14日 | MGプレス掲載 |
| 令和8年2月22日 | 企画実施 |
| 令和8年2月23日 | 信濃毎日新聞掲載 |